

宮城県・秋田県連合チームが初優勝 全日本製造業コマ大戦第三回県別対抗戦・岐阜場所2018

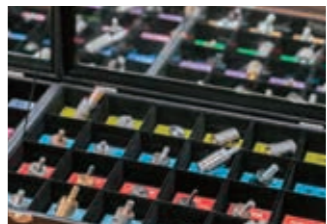
3月24日に岐阜県で行われた「全日本製造業コマ大戦第三回県別対抗戦」において、宮城県・秋田県連合チームが優勝した。全日本製造業コマ大戦は、企業や団体などが技術とアイデアを結集して作ったコマで対決する競技。直径20ミリ以下、全長60ミリ以内で製作したコマを「土俵」と呼ばれる台の上で回し、土俵の外に出たり、回転が止まってしまったりすると負けとなる。



優勝旗を手にする佐藤さん



回すと羽根が開き相手を弾き飛ばすコマ(右)で優勝した



優勝者は、コマを総取りすることができる。個性的なコマがずらりと並ぶ

先に5勝したチームが勝ち残るトーナメント方式で熱戦を繰り広げた。機械加工を手掛ける宮城県3社と、秋田県2社からなる連合チームで大将を務めた、株式会社若沼精工(岩沼市)の佐藤克也さんは、「負ければチームの敗北が決まる大将の責任が重く、しかなかった。無事に優勝できてホッとしています」と大会を振り返った。同社は、2017年度のラ

大会で優勝3回、準優勝1回を誇る強豪。佐藤さんは「打倒若沼精工を目標に掲げた、全国のチームの標的となりました」と話した。同社は、2017年度のランキング1位に輝いている。

学生・企業が直接意見を交換 平成30年度みやぎ就職ガイダンス

4月25日、仙台国際センター(仙台市)で、「平成30年度みやぎ就職ガイダンス」が開催された。来年3月に大学や高等専



熱く語る企業の担当者の説明を真剣に聞く学生たち



会場は、多くの学生と企業関係者でにぎわいをみせた

門学校などを卒業する予定の学生と、公共職業能力開発施設(高卒2年訓練課程)修了予定者が対象。2009人の参加者は、製造・建設・情報通信系の企業の採用担当者から、「超売り手市場」と言われている新卒者採用の難しさは、宮城県内のIT業界でも強く感じています。会社だけではなく業界全体のアビリティを上げて、優秀な人材を確保できるように頑張りたい」と話した。製造業のブースを訪れた

情報通信・福祉・小売などの業界から集まった154社から、関心を持った企業のブースを訪問し、採用担当者の説明を聞いた。情報通信系の企業の採用担当者は、「超売り手市場」と言われている新卒者採用の難しさは、宮城県内のIT業界でも強く感じています。会社だけではなく業界全体のアビリティを上げて、優秀な人材を確保できるように頑張りたい」と話した。製造業のブースを訪れた

専門学校生は、「学校ではプログラミングについて勉強していますが、県内に就職をしたいと思います。このガイダンスで、学校の先生や先輩から話を聞いて、興味を持ちました」と感想を話した。同ガイダンスは、宮城県と宮城労働局、ハローワーク、仙台市が主催。会場では、ハローワーク職員による職業相談も行われた。



高卒者採用のポイントを分かりやすく説明する高木代表



参加者は、高木代表の説明にメモをとっていた

5月21日、県内のものづくり企業が、高校新卒者採用のポイント学ぶ「みやぎ企業採用力向上セミナー」が県庁で行われた。セミナーには、41社の採用担当者44人が参加し、講師を務めたオフィス55(仙台市)の高木茂代表の話に耳を傾けた。

高木氏は、高校新卒者の採用には決められたルールがあることを説明。「まずは、基本を押さえることが大切」と話した。さらに、「企業にとって採用がゴールではありません。採用した若い人材をその会社の戦力として育て、職場に欠かせない人材として定着させることがゴールです」と人材育成のためのキャリアパスの整備と定着施策の整備の重要性を訴えた。

そして、就職を希望する生徒が、夏の間企業を訪問する「応募前職場見学」についても言及し、「応募前職場見学は、大学生のインターンシップ同様、会社の実態に触れることができる貴重な機会です。企業側は、単なる職場見学として高校生を受け入れるのではなく、プログラムの工夫や充実を図り、有効に活用してほしい」とアドバイスした。

参加した採用担当者は「高校との関係性の構築のノウハウや高校生が企業を選ぶ視点についてしっかりと理解し、良い人材の採用につなげていきたい。そのために、今日学んだことを会社に持ち帰り、改善点があれば検討していきたいと思っています」と話した。同セミナーは、2009年から行われており、今年で10年目。本年度は、県庁のほか、石巻市や大崎市でも開催された。10月には、県庁で大学新卒者をテーマに同様のセミナーが行われる予定。

「これからのイベント開催情報」

○宮城県地方創生インターンシップ事業 参加学生および受け入れ企業募集

県内製造業等の人手不足解消と、人材確保を図るため、県内企業でインターンシップを実施します。そこで参加を希望する大学生等と受け入れ企業を募集します。参加学生に対する交通費・宿泊費の一部補助やコーディネーターによるフォロー、受け入れ企業に対するプログラム作成支援や担当者向けの研修会などサポートを用意しています。

問／宮城県地方創生インターンシップ事業事務局
TEL 022-216-3707(宮城)
03-5439-9370(東京)
http://www.mint.miyagi.jp/

○若者等人材確保・定着支援事業 合同企業説明会

転職・再就職希望者や平成31年3月に卒業見込みの大学生・短大生・専門学校生等を対象とした合同企業説明会を実施します。宮城県内企業50社の参加を予定。会場では、就職・転職に関する相談コーナーも開設します。参加無料で予約不要。

【開催予定日】
日時／7月7日(土) 13時〜16時
場所／AER 5階
仙台市中小企業活性化センター多目的ホール
問／株式会社コー・ワークス 人材力向上プロジェクト事務局
TEL 022-309-7744
http://jinzaiyoku.jp/

○みやぎカーイノベーション 人材育成センター研修

東北各県の大学・高専・専門学校生等を対象に、自動車づくりをテーマとした研修を開催します。自動車開発の基礎知識やCAE、電子制御などについて、現役技術者などから講義や実習を通じて学びます。現在、インターネットで各講座の参加申し込みを受け付け中です。受講料無料。

【開催予定日】
期間／8月8日(水)〜9月6日(木)
※詳しい日程はホームページで
場所／東北電子専門学校、花壇自動車大学校、仙台国際センターほか
申込締切／7月13日(金)
問／022-211-2533
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jidousha/car-intelli30.html

○ものづくりフェスタinみやぎ 2018

宮城県の卓越した技能が一堂に会し、体験や実演を通じて、ものづくりの大切さや魅力を感じることが出来るイベントです。技能士団体等によるものづくりが楽しめる「体験教室」や、技能士の熟練の技を見ることが出来る実演コーナーがあります。

【開催予定日】
日時／8月4日(土)〜6日(月)
10時〜17時
場所／夢メッセみやぎ(仙台市)
問／022-727-5380



新規立地企業紹介

ようこそ宮城へ!

株式会社ワイ・デー・ケー
宮城工場 (大和町)



所在地／本社：東京都稲城市押立1705
宮城工場：黒川郡大和町テクノビルズ55
https://ydkinc.co.jp/
代表取締役社長／渡邊 和夫
資本金／1億円
設立／1952年11月
従業員数／468人(2018年4月現在)
事業内容／半導体製造装置、FPD製造装置、産業用設備の設計開発、製造、修理、伝送・通信装置、ネットワーク機器、IoT機器の設計開発、製造ネットワークシステム構築、精密機械部品の切削加工

株式会社ワイ・デー・ケーは、東京都稲城市に本社を置き、創業は1952年、今年で66年目のものづくり企業です。当社は、設計から生産までをワンストップで、どの切り口からでも、高品質なものを迅速かつ低価格で提供し、お客様から最も信頼されるパートナーになることを目指しています。品質(Quality)、価格(Cost)、納期(Delivery)に優れているのは当然、という精神と、加えてワンストップサービス、スピーディな対応、お客様のサプライチェーンに組み込まれることにも徹底的にこだわっています。

当社の事業範囲は、半導体/液晶製造・検査装置、産業用設備、放送、伝送通信機器、制御機器、CATV装置など社会インフラ、産業の基盤を支えるさまざま

さまざまな分野に及んでいます。半導体製造装置の設計から製造、検査までを行う本社・東京工場をはじめ、東北・九州・中国(昆山市)に工場があり、2018年8月に大和町リサーチパーク内に竣工する宮城工場は、当グループとして6番目の生産工場となります。

宮城工場では、主に半導体製造装置の製造を担当します。宮城県への工場進出を決定した理由はいくつかあります。まず、お客様に近い場所でものづくりをすることでの物流・移動コストのミニマム化と、資材調達を優位に進められること、加えて高速道路、鉄道、空路、船舶等の各種交通インフラが整備されていること、さらには、学都仙台を背景とした優秀な人材を確保しやすい環境にあることがその理由です。



建設が進む宮城工場 (2018年6月2日撮影)